自然と、あなたと、ともに未来へ。

RENOVA

2026 年 11 月 16 日

各　位

会 社 名　株式会社レノバ
代表者名　代表取締役社長 CEO　木南　陽介
（コード番号：9519　東証プライム市場）
問合せ先　取締役執行役員 CFO　山口　和志
（TEL.03-3516-6263）

財務上の特約が付されたグリーンシンジケートローン契約締結に関するお知らせ

当社は本日、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行を主幹事銀行とする財務上の特約が付されたグリーンシンジケートローン契約（以下「本契約」）を締結することを決定し、締結を完了いたしましたので、お知らせいたします。

記

1.　グリーンシンジケートローン契約締結の目的

当社は「中期経営計画 2030」において、国内外で太陽光、陸上風力及び蓄電事業の開発を推進し、2030 年度には運転中・建設中の設備容量の合計で 5.0GW（事業全体のグロス容量）を目指しています。本契約は、この中期経営計画の遂行に必要な資金を確保し、資金調達基盤を強化することを目的とするものです。本契約に基づく融資は、日本格付研究所の評価を受けたグリーンファイナンス・フレームワークに則ったグリーンローンです。

なお、本契約は、3 年間の借入実行可能期間（コミットメント期間）中において、当社の事業進捗に応じて随時必要な資金を引き出すことができるストラクチャーとしております。これにより、金利負担を抑制しつつ、機動的な資金調達が可能となります。

当社は、これまでのプロジェクトファイナンスによる資金調達を通じて、金融機関の皆様と強固な関係を築いてまいりました。本契約の締結に当たっては、こうした信頼関係を基盤に、「グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し枢要な社会的課題を解決する」という当社の経営理念の実現に向けた取り組みに、金融機関の皆様からご理解とご支援を賜りました。当社は、今後も金融機関の皆様のご支援を受けながら、再生可能エネルギー及び蓄電池の事業開発を一層加速させてまいります。これらの取り組みを通じて、中期経営計画を確実に遂行するとともに、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

2.　グリーンシンジケートローン契約の概要

(1) 組成金額	10,340百万円
(2) 契約締結日	2026年11月16日
(3) 借入期間	7年（うち借入実行可能期間3年）
(4) 契約形態	コミットメント付タームローン

(5) アレンジャー	株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行
(6) 財務上の特約	2期連続の連結営業損失計上の回避

（参考）グリーンローンについて

グリーンローンとは、調達資金の使途を、明確な環境改善効果を有する事業（グリーンプロジェクト）に限定する融資です。資金使途に加え、対象事業の評価・選定プロセス、調達資金の管理、資金の充当状況や環境改善効果に関する報告を通じて、融資の透明性を確保することが基本的な仕組みとなっています。

3. 今後の見通し

本契約の締結による今期（2027年3月期）の連結予想への影響は軽微です。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

【リリースに関するお問い合わせ先】
IR 室　奥野　博樹
TEL：03-3516-6263
E メール：ir@renovainc.com